

## 平成23年度の「地域密着型金融」の取組み状況

### 1. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化

取組み項目	23年度実績	
・創業・新事業支援融資	1 件	2 百万円
・企業再生支援取組み	1 件	30 百万円

### 2. 事業価値を見極める融資手法をはじめ、中小企業に適した資金供給手法の徹底

取組み項目	23年度実績	
・県保証協会付融資の活用	134 件	882 百万円
・人材育成		
上部団体主催研修会への参加	派遣職員	5 名

### 3. 地域の情報収集を活用した持続可能な地域経済への貢献

取組み項目	取組み内容等
・下呂温泉いで湯卓球大会の開催 (観光客誘致事業)	第4回目の開催に、全国各地域より550名の方に、ご参加頂きました。 (参加地域:北海道、埼玉、千葉、東京、神奈川、山口、広島、長野、富山、福井、石川、静岡、愛知、三重、岐阜) 3日間
・よさこいソーラン日本海下呂温泉大会の開催 (観光客誘致事業)	第2回目の開催に、石川県加賀市・内灘町・七尾市・金沢市・宝達志水町・小松市、滋賀県彦根市、岐阜県瑞浪市・下呂市の24チーム・570名の方に、ご参加頂きました。 2日間
・下呂温泉謝肉祭への協賛 (観光客誘致事業)	下呂温泉誘客増および地域活性化のためのイベント、下呂温泉旅館組合が主催する同イベントに参加 飛騨牛、地元食材バザー等のほか、地元太鼓、特設足湯、特設牧場・移動動物園などのイベントを行っています。(約3,000人の集客)
・観光立市である下呂市活性化のため、行政・業界団体と提供し、全国の信用組合に対し、観光客誘致のための案内文書を発送 (観光客誘致事業)	23年度においても、全国の信用組合に対し、理事長の挨拶文と下呂温泉観光パンフレットを同封して、各信用組合の「職員慰安旅行」「年金友の会旅行」等に下呂温泉を利用していただきたい旨の依頼文書を発送し、宿泊客の増加に寄与しております。(1,015名の方にお越し頂きました。)
・ビジネスマッチングを目的とした「異業種交流会」の開催	取引先経営者で構成する「益信経済クラブ経営講座」を開催し、異業種間交流を図っています。当会は毎年3回開催しており、地域経済の情報交換の場として毎回多数の参加者があります。通算89回の開催を行っています。
・子育て家庭応援キャンペーンへの参加	18歳未満のお子様の人数に応じて、定期預金・定期積金・各種ローンの金利を優遇する商品「子育て応援団」を継続して行っています。
・こども110番 地域安全パトロール活動	地域の宝である子どもさんの安全活動に組合全体で協力しています。
・河川ごみ清掃活動協力および飛騨川クリーン作戦参加	毎年、下呂温泉花火大会の翌日早朝に河川のごみ清掃ボランティアに協力しています。又、飛騨川河川敷や国道41号線の清掃活動に参加しています。

**【その2】  
経営改善支援等の取組み実績**

【23年4月～24年3月】

(単位:先数)

	期初 債務者 数	うち 経営改 善支援 取組み 先数	αのうち	αのうち	αのうち	経営改善 支援取組 み率	ランク アップ率	再生計画 策定率
			期末に 債務者 区分が ランク アップし た先数	期末に 債務者 区分が 変化しな かった先 数	再生計 画を策 定した先 数			
	A	α	β	γ	δ	α/A	β/α	δ/α
正常先 ①	268	0		0	0	0.0%		-
要注意先	うちその他 要注意先 ②	239	7	0	7	2.9%	0.0%	100.0%
	うち 要管理先 ③	19	0	0	0	0.0%	-	-
破綻懸念先 ④	19	1	0	1	1	5.3%	0.0%	100.0%
実質破綻先 ⑤	27	1	0	1	1	3.7%	0.0%	100.0%
破綻先 ⑥	1	0	0	0	0	0.0%	-	-
小計 (②～⑥の計)	305	9	0	9	9	3.0%	0.0%	100.0%
合計	573	9	0	9	9	1.6%	0.0%	100.0%

(注) ・期初債務者数及び債務者区分は23年4月初時点での整理。

・債務者数、経営改善支援取組み先は、取引先企業(個人事業主を含む。)であり、個人ローン、住宅ローンのみの先を含まない。

※経営改善支援取組み先の定義については、これまでと同様ですが、詳細については別紙「経営改善支援取組み先の定義について」を参照。

・βには、当期末の債務者区分が期初よりランクアップした先数を記載。

なお、経営改善支援取組み先で期中に完済した債務者はαに含めるもののβに含めない。

・期初の債務者区分が「うち要管理先」であった先が期末に債務者区分が「うちその他要注意先」にランクアップした場合はβに含める。

・期初に存在した債務者で期中に新たに「経営改善支援取組み先」に選定した債務者については(仮に選定時の債務者区分が期初の債務者区分と異なっていたとしても)期初の債務者区分に従って整理すること。

・期中に新たに取引を開始した取引先については本表に含めない。

・γには、期末の債務者区分が期初と変化しなかった先数を記載。

・みなし正常先については正常先の債務者数に計上すること。

・「再生計画を策定した先数δ」=「中小企業再生支援協議会の再生計画策定先」+「RCCの支援決定先」+「金融機関独自の再生計画策定先」